

## 編集後記

センターのシステム更新もやっとな峠を越えたようである。それにしても今回ほど沢山の苦情を頂戴したことはセンター始まって以来の事と伺っている。それだけ多くのユーザに使って頂いていると考えさせられると共に計算機やネットワークが電気や水道と同じく必需品とならされてしまった時代の感がある。

もちろんシステムの肥大化、複雑化が根底にあるにしてもセンターの設計思想やメーカーの対応が二昔前の「使わせてやっている」や「性能のいいものを使いこなせないのはユーザの責任」といった考えがどこかにないだろうか。圧倒的多数のユーザは二昔前のユーザよりハードウェアやプログラミングに関心が、いやコンピュータそのものに関心がないユーザである。その人たちに対して24時間連続のサービスを提供しなければならない世の中である。少なくとも現状の機能を維持し、ユーザに設定の変更等を依頼することなく、システム移行したことすら知らない程度のスムーズな移行を次回に期待すると共にこれまで以上にパワフルで快適な新システムを十二分に使って下さい。(よいしょ。)

弘前大学総合情報処理センター  
教育広報専門委員会

伊藤 守 幸 (人 文 学 部)  
太田 誠 耕 (教 育 学 部)  
三上 聖 治 (附 属 病 院, 委 員 長)  
市村 雅 一 (理 工 学 部)  
張 樹 槐 (農 学 生 命 科 学 部)  
丹波 澄 雄 (総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー)